

会場型ならではの 実際の自動車部品を見て理解！

車載プラスチック 基礎と最新動向 (カーボンニュートラル・次世代モビリティ対応)

～プラスチックの特性と車載としての活用着眼点を基礎から学びます～

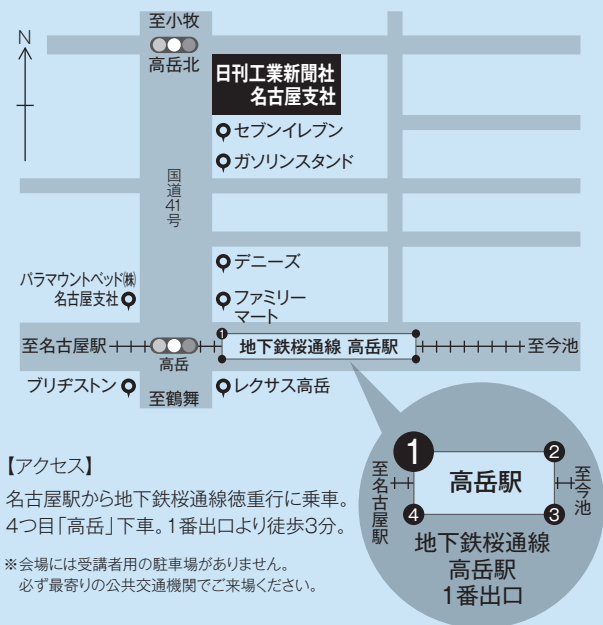
日時 2024年6月17日(月) 13:00~17:00
(12:30 受付開始)

会場 日刊工業新聞社 名古屋支社 セミナールーム 名古屋市東区泉2-21-28

受講料 38,500円(資料含む、消費税込)

※日本金型工業会、中部プラスチックス連合会の正会員の方は15%割引とさせていただきます。

日刊工業新聞社 名古屋支社 会場案内図



【アクセス】

名古屋駅から地下鉄桜通線徳重行に乗り、4つ目「高岳」下車。1番出口より徒歩3分。

※会場には受講者用の駐車場がありません。必ず最寄りの公共交通機関でご来場ください。

セミナー申込を検討中の皆さまへ

新型コロナウイルス感染症に伴うセミナー開催及び対応について、弊社WEBサイトにてご確認ください。

<https://corp.nikkan.co.jp/seminars/view/3693>

受講にあたり

開催決定後、受講票並び請求書をご郵送いたします。

申込者が最少催行人数に達していない講座の場合、開催を見送りとさせていただきます。ご了承ください。(担当者より一週間前を目途にご連絡致します。)

お申し込み方法

ホームページ (<https://corp.nikkan.co.jp/seminars/search>) または、下記申込書をご記入のうえFAXにてお申し込みください。

受講料

セミナー開催日までに銀行振込にてお支払いください。

振込手数料は貴社でご負担願います。

キャンセルポリシー

開催日1週間前までの受付とさせていただきます。1週間前までにご連絡がない場合はご欠席の方もキャンセル料として受講料全額を頂きます。

申込・問合せ

日刊工業新聞社 名古屋支社 イベントG

TEL 052 (931) 6158 (直通) FAX 052 (931) 6159

受講申込書

6/17 車載プラスチック

お申し込みは <https://corp.nikkan.co.jp/seminars/search>

会社名	フリガナ	業種	
氏名	フリガナ	TEL	
	部署・役職	FAX	
所在地	〒	E-mail	※今後、E-mailによるご案内を希望しない方は <input type="checkbox"/>
備考			<input type="checkbox"/> 日本金型工業会正会員 <input type="checkbox"/> 中部プラスチックス連合会正会員

個人情報の取り扱いについて

ご登録いただいた情報は日刊工業新聞社が細心の注意を払い、展示会・セミナー・サービス等、各種ご案内を送らせていただくことを目的に利用させていただきます。

なお、メールの宛先変更・配信停止をご希望の際は右記までご連絡ください。【連絡先】日刊工業新聞社 dbopr03@nikkan.tech

郵送による宛先変更・発送停止をご希望の際は、本紙を封入していた封筒のダイレクトメールの調査欄をご記入の上、本ページ中央部右下に記載の[申込・問合せ]連絡先へFAXにてご連絡ください。

No.247532

開催主旨

自動車の内装は見渡す範囲はほぼすべてプラスチック部品です。外装もバンパーやランプ類はやはりプラスチックで構成されています。目に見えない機能部品もダクトを中心に樹脂成形品です。一方、プラスチックは長期耐久性が十分でなく、特に自動車のような厳しい環境で活用する際には十分な検討が重要です。プラスチックの特性と車載としての活用着眼点を基礎から理解します。

その理解の上で、対面セミナーならではの、実際の自動車部品や破壊された日用品を観察しながら解説します。

後半は、カーボンニュートラル対応の視点でモビリティとプラスチックにスポットを当てます。プラスチック材料そのものや成形加工のカーボンニュートラルを事例と共に解説します。次世代モビリティに関しては全体情報を整理した上で、EVやFCVといった新エネルギー車関連プラスチックにフォーカスします。モビリティ全体のトレンドも事例で解説します。

車載プラスチックの基礎理解とともに、カーボンニュートラル対応などの最新の視点からもプラスチックが理解できる貴重なセミナーです。

講師

技術オフィス Tech-T 代表 / 埼玉工業大学客員教授、元トヨタ自動車 / 元サムスン 博士(工学)

高原 忠良 氏

【略歴】 プラスチック成形加工学会、自動車技術会 会員

1980～1989 新日本無線株式会社 高融点金属・セラミックの研究

1989～2012 トヨタ自動車 樹脂部品生産&材料・加工技術・CAE 開発

2012～2015 SamsungSDI (韓国本社) エンプラ研究所

2015～2017 大手自動車メーカ 研究所 次世代車要素技術開発

2017～現職 埼玉工業大学 客員教授

2020～現職 技術オフィス Tech-T 設立

プログラム

1. 車載プラスチックの狙いと課題対応

－活用の狙い、プラスチックならではの課題、
さらに車載プラとしての高度な要求の理解－

- (1) 活用の狙い
コスト低減 / 軽量化 / 高品位化
- (2) 活用における課題
耐熱性 / 剛性 / 耐久性 / 耐環境特性
- (3) 課題対応の知恵

2. 自動車部品への活用状況

3. 【部品確認タイム】

現地現物精神で現物を確認！
経験豊かな講師が現物で解説します。

4. 車載プラスチックの

カーボンニュートラル対応状況

－2050年カーボンニュートラル、2030年
SDGsに向かったの動きを事例とともに解説－

- (1) 環境問題 SDGs カーボンニュートラル
- (2) プラスチックとしての対応
サーマル / メカニカル / ケミカルリサイクル、
植物由来
- (3) 取り組み例
トヨタ自動車 / 主要なケミカル素材メーカ / 欧州

5. 次世代モビリティと業界動向

- (1) 情報の整理整頓
EVやFCV、水素エンジン、自動運転等
- (2) EV/FCV プラットフォーム
- (3) 業界の大変革
水平分業、新興企業 (ソニー、鴻海・・・)

6. これからの車載プラスチック

- (1) 内装 車内快適空間
- (2) 通信・安全センサー類
- (3) 軽量化
- (4) 新エネルギー車 固有部品

7. おまけ (進行状況によっては割愛します)

- (1) 試乗報告 計9車種
FCV Hyundai NEXO / Toyota MIRAI
EV Human Horizons HiPhiX / Hyundai
IONIQ5 / Toyota bZ4X / BYD ATTO3 /
Nissan ARIYA / Nissan SAKURA /
Honda e
- (2) トヨタ生産方式からみた車載プラの
品質と生産性

8. まとめ

9. 質疑応答 / 名刺交換